

『私にとっての社会貢献』

(株) データープロセサース

橋口 由裕

社会貢献という言葉より、ボランティアという言葉の方が、私にとってはなぜかピンとくる。もう、12年ほど前に、ある団体と関わることになりそれ以来、その中で活動をしてきたからだと思う。最初に関わったのは実は私ではなく、息子と妻であった。当時、まだ幼稚園生であった息子が妻と一緒に、近所の公園でボーイスカウト活動の体験をしてきて以来、それがなぜか父親の私がのめり込んでしまったのである。(知らないかたもいるかと思うので少し説明をしておきますが、小学校入学前だとビーバースカウトと言うクラスのような所から始まります。その後がスカウト、ボーイスカウト、バンチャスカウト、ローバースカウトと年齢により変わっていきます) 活動の中でのボランティアとしては、募金活動や植樹、そして清掃活動などがあります。特に最近行ったのが清掃活動の一環として、全国のスカウトが一斉に行うカントリー大作戦と言うものがあります。カントリーとは缶取り、要は空き缶拾いを主体とした清掃活動です。スカウトにとっても街の美化運動でもありまた、社会勉強にもなっています。子供達へは、どの組が沢山の空き缶を集められるかと競争心を煽りその結果、集めた量を自慢するのですが本来ならば、ゴミが少ない事が良いはずです。そこでこんなに沢山のゴミが身近にあることを、実体験の中で学ばせ、その結果としてゴミを街中でなげ捨てるような事はしない。いや、きっとしていないはずだと信じています。今私は、ビーバー隊の隊長、カブスカウト隊の隊長として活動の中で行ってきたボランティア活動を、普段の生活の中でも出来ることは実践し、結果それが社会貢献となるのであればと思っています。

拾ったゴミ等を分別仕分



ペットボトル 141 個



アルミ缶 192 個
スチール缶 386 個



ビン 43 個
その他・粗大ゴミ等